

栄養学(隣接医学 C)

5年(前期)

二川 健・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 竹谷 豊・准教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 奥村 裕司・准教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】栄養学は、食物とヒトの相互作用を研究する学問であり、大きく基礎栄養学、臨床栄養学及び公衆栄養学に分けることが出来る。講義時間が限られているので、栄養学のトピックスについて取り上げることとする。

【授業形式】講義

【授業方法】講義(スライド、プリント)

【授業場所】水曜2時限 示説室

【履修上の注意】試験は学生便覧の歯学部規則を満たしている者に対して行う。

【授業計画】

	大項目	内容	担当
1.	骨・筋肉の老化と栄養学	老化の学説、骨と筋肉の萎縮、栄養による老化の修飾	二川
2.	癌と栄養	癌の病態と栄養管理について	奥村
3.	肥満・糖尿病	肥満・糖尿病の病態と栄養管理について	竹谷
4.	機能性食品とその活用	生活習慣病を標的として機能性食品の現状と活用法について	〃

【成績評価】評価は筆記試験により行う。100点満点で60点以上のものを合格とする。

【再試験】行う。

【教科書】

- ◇ 「最新栄養学」第8版 木村修一・小林修平翻訳監修, 建帛社
- ◇ 「臨床病態栄養学」武田英二著, 文光堂
- ◇ 「健康・栄養食品アドバイザースタッフ, テキストブック」国立健康・栄養研究所監修, 第一出版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217294>